

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



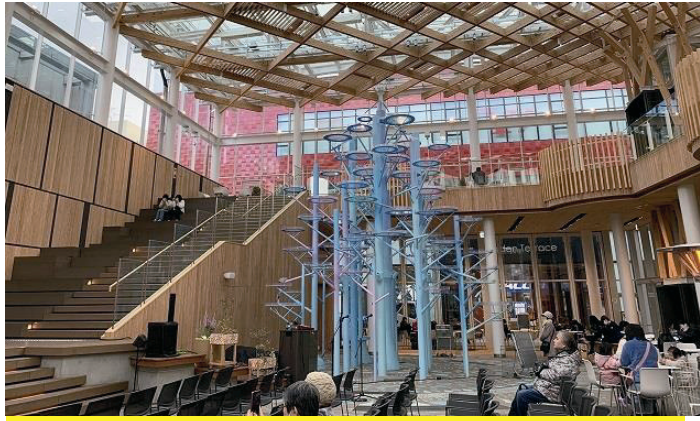
ホームページ ブログ
最新記事をそれぞれ
に掲載しています



インターン生と研修中

中長期構想から見直しが必要ではないか

とりあえず、町田市が考える中期の計画は見直しが差し迫っていると考えています。それは町田市の財政支出を硬直化させ、市民の税負担を強いることにつながる可能性が高いという観点から言えることです。



全国各地で珍しい施設を観る機会があります

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の財政支出の増大（特例給付金、医療、雇用確保、経済復興等）により、その財源確保のため、所得税に付加した税金（東日本大震災に伴う復興税）がさらに追加されるでしょう。それをやらずに進むと後世に莫大な負担を強いることになるので、私たち現役世代は、基本的にその増税を受け入れるほかにないものだと思っています。

他方で、町田市が構想する工芸美術館建設、あるいは公共施設の全面的な再編計画は、明らかに不要不急な施策であり、それを推し進めることは再考するべきだと思います。町田市は都市整備のためとして、近々、都市計画税を引き上げる考えを持っていますが、放棄するか、当面棚上げを図るやり方が必要だと思います。いかがでしょうか。議会で議論の対象にしていきます。

緊急事態宣言の解除と市民生活

全国で発せられていた緊急事態宣言が5月26日から解除になりました。ただし、東京都解除の段階において実施、生活・産業の秩序を設定しています。つまり、6月1日以降になっても元の体制に完全に戻すというあり方は基本的に難しく、満員のスタジアム、熱気のライブ、華やかな屋内立食パーティーなどは当面主催者も参加者も見合わせたいということになるでしょう。テーマパーク、劇場、映画館などは入場制限を設定して運営されることになるものと思います。デパート、ショッピングモールは企画イベントを控えた経営となり、旧来の「賑わい」という言葉がかすんでしまうのではないかと考えています。

さて、町田市の公共施設は6月1日から、全面的に再開されます。ただし、上記に要件は町田市の施設利用であっても様々の規制が施されるのではないかと考えています。一番には体育館の利用で換気がどのように確保されるか、満杯の観客を前提にするスポーツ開催は難しく、施設の構造も合わせて再検討する必要が出てくるのではないかと推測しています。



★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です
★ 大学生の目標・希望にそって、議員と一緒に研修・調査するプログラムで社会勉強。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」会派室

自宅 042-795-7361

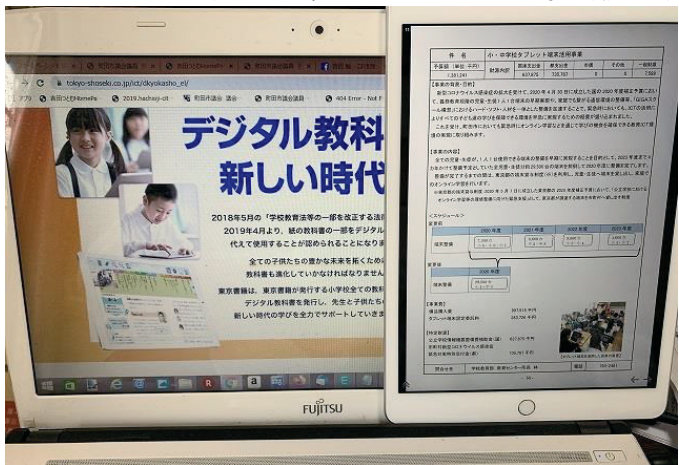


FAX: 042-795-2726

ICT教育の現状とタブレット無料配布

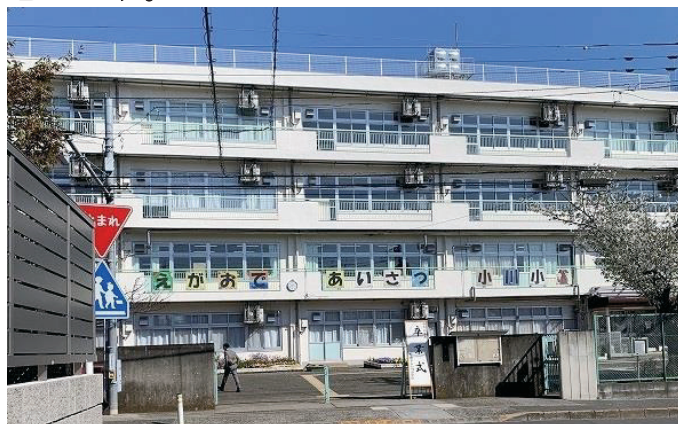
補正予算審議を通じて、生徒・児童にタブレット端末を配布するという計画の前倒しが明らかになりました。ただし、2020年度中の計画であり、学校が再開されたら直ぐに授業に使用されるという体制は取られていません。一般には、ITC（情報通信技術）教育の充実が言われて等しいので、すでに学校教育で普通に用いられていると考えがちですが、まだまだ、学校教育にネット教材を元にした教育が行える体制とは言えません。

その理由には二つの要因があると思っています。一番は、そもそも教師の中にネット教材の利用を前提に教える体制に至っていないことがあります。また、児童・生徒がインターネット環境に誰しも馴染んでいるわけではない、あるいは家庭にネット環境がそろっているわけではない（少なくとも、10%ほどは家庭では未利用）という課題があります。タブレット端末を配布する以上は、学校から持ち帰りをして、児童・生徒が予習・復習をできる体制が必要ですが、ネット接続ができる環境（通信費用を加えて機材の貸し出しを行うこと）が必須だと思います。（続く）



公立小中学校の再開と9月入学

ようやく、学校が再開されることになりました。ただし、この間、家庭学習と言っても教科書を使用した規則的、段階的に学習する機会がほとんど欠けていたので、それを取り戻すことは容易でないでしょう。スパルタ式の学習塾でもない限り、一般の塾でも開校した学習は行われていなかったもので、大半の児童・生徒は教科書を開いて、1日分の授業を受けるだけでも大きな苦勞が伴うことだと思います。



今、9月入学の話が盛んですが、今の学年をその9月から始めようというわけではなく、少なくとも来年以降の話か、あるいは小学生のスタートから6年をかけて、欧米に合わせるということになります。いずれにしても、来年の高校入試、私立中学校の入学に間に合わせるという観点はありません。ましてや、高校3年生にとって、来年の入試はこの秋にもスタートします。この間が不十分な学習環境であったとしても、入試が待ってくれるとは考えられないので、自分でどれだけ学習できる能力を会得できるかが人生の第一関門になる厳しさがあると言えます。着実に勉強を重ねてください。

★ 政党無所属で市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

連絡先 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）